

# 除袋機付梨選果機完工

省力と味セーキの特産化に期待



月潟村農協が新農業構造改善事業により進めてきた県内初の除袋機付き梨選果機が完成し去る五月二十七日、竣工式が青果物取扱高一億円突破記念式典を兼ね合わせて昨年八月に完成した梨選果場において挙行されました。(写真)

式典には、新潟農政事務所次長ら関係機関団体の代表者約八十名が出席し、来賓より

消費者ニーズに応えた最新鋭の高性能機械が導入されたことでこれを契機に一層の技術の研鑽と栽培農家が一体となって

つて系統共販率を高め产地づくりを進めて欲しいと激励されておりました。

この施設は、収穫から出荷迄の農家の手間を省くとともに二十世紀梨の無袋パック詰め出荷による「味セーキ」として附加価値を高め所得増大を図ろうと除袋機をセットし

導入したもの。選果機も重量式と形状式がボタンひとつで簡単に切り替えることが可能で、梨・桃など作目、品種特性に応じた適正選果により市場での評価が高まるものと期待されています。

選果機は三条型で、一日当たりの処理能力は30t。農協では、今冬の豪雪被害により影響が出るものの一時も早く系統共販率を高める運動を展開することとしています。

併せて行なわれた青果物取

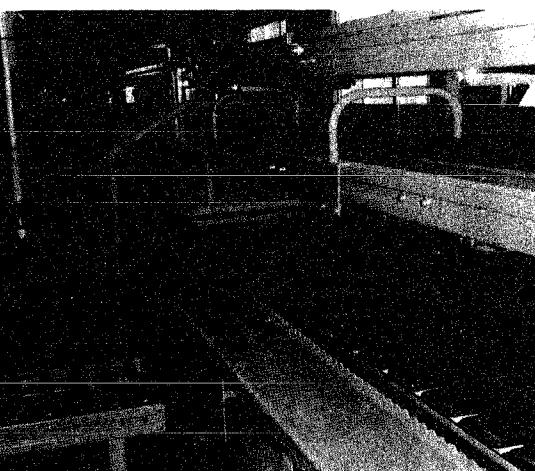
扱い高一億円突破記念式典では、大別当の深沢幸雄さんら六名が表彰され萬雷の拍手が寄せられておりました。

◎主な施設の概要

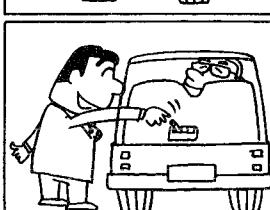
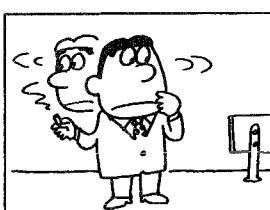
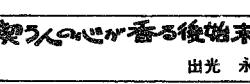
形状重量併用式選別機	(三条型)	一台
運営委員と監事を嘱託	運営委員	一 台
事業費	五四、四〇〇千円	一 台

## ▲導入された県内初の除袋機付梨選果機

「味セーキ」とは……太陽光線をよくあて農薬が付着しないように、パラフィン紙一重袋で栽培した。クリーンでデリシャスな二十世紀ナシです。



## 簡易水道 第二次拡張工事に着手



## 入札結果公表

## 登記印紙で納付

登記簿謄抄本等の手数料

登記印紙で納付

手数料

月潟村簡易水道第二次拡張工事の地鎮祭が去る五月二十日行われました。昭和五十六年度から計画された浄水施設改良工事は第一次工事が五十七年度で完了。第二次工事が今年度、総工費九、〇五〇万円で拡張整備されます。

取水導水施設、着水井、薬品室、同注入施設、同攪拌機等が先回の工事で完備され、過池を改良し、八四〇tとなり、これに伴い使用水量が今までの二時間から約九時間

基を新設。又、既設の配水池二四〇tの貯水槽に緩速ろ過池を改良し、八四〇tとなり、これに伴い使用水量が今までの二時間から約九時間

昭和六十年七月一日から登記所の経理が特別会計によつて行われ、これに伴い、不動産登記簿や商業・法人登記簿等の謄抄本交付、閲覧、証明等の申請に要する手数料は、従来のように「収入印紙」ではなく、「登記印紙」によって納めていたが、ことになります。

この登記印紙は、七月一日から全国の集配郵便局、印紙売りさばき所で販売され、登記簿の謄抄本等の手数料を納付する場合だけに使用するもの

一 不動産 二〇〇円  
○ 登記事項の証明  
一 件 二〇〇円  
○ 印鑑証明書  
一 件 二〇〇円  
○ 登記印紙の閲覧  
一 通 四〇〇円(一通の超える枚数五枚ごとに百円加算となります。)

一、工事名	農村総合整備モデル事業農排第22号排水路二次工事	二、入札年月日	昭和60年5月21日	三、落札業者	中之口村 株式会社宮川組	四、落札価格	一一、八〇〇千円
一、工事名	農村総合整備モデル事業農排第21号排水路工事	二、入札年月日	昭和60年5月21日	三、契約業者	卷町 株式会社吉田建設	四、契約価格	五、八五〇千円
一、工事名	農村総合整備モデル事業農排第21号排水路工事	二、入札年月日	昭和60年5月22日	三、契約業者	木村 関本 武夫 恭尚	監事	鏡正二 星野与一郎 田中正弘 友子 久司博子 塩浦直治 佐藤誠一 佐藤誠一
一、工事名	農村総合整備モデル事業農排第21号排水路工事	二、入札年月日	昭和60年5月22日	三、契約業者	白倉 須崎 木村 関本 武夫 恭尚	監事	鏡正二 星野与一郎 田中正弘 友子 久司博子 塩浦直治 佐藤誠一 佐藤誠一
一、工事名	農村総合整備モデル事業農排第21号排水路工事	二、入札年月日	昭和60年5月22日	三、契約業者	東長島順 不同	監事	鏡正二 星野与一郎 田中正弘 友子 久司博子 塩浦直治 佐藤誠一 佐藤誠一